週刊観光経済新聞
宿泊・旅行業・運輸・自治体（観光全般）

第2部

高校教育旅行特集

愛媛県松山市

「生きる体験」を地域あげて実現

日本最古の湯として名高い「道後温泉」を有し、年間500万人の観光客が訪れる愛媛県松山市で、現在、教育旅行誘致が積極的に展開されている。波静かな瀬戸内海に面しており、年間を通じて気候は温暖で降水量も少なく、昨年の体験メニュー等実施率は100%を誇る。常に新しい情報をキャッチし、教育旅行のさまざまなニーズに合った松山オリジナルのメニューづくりを心掛けている。「提案する内容は、松山でしか出会えない〝本物の体験〟、そして〝生きる体験〟。来ていただいた生徒に『感動』『教訓』『最高の思い出』を約束する」（松山市）。同市の教育旅行受け入れ事情を紹介しよう

瀬戸内海に浮かぶ「みかん王国」（中島）でのみかん収穫体験は、収穫方法とともに人の優しさも体感する

全市内が体験フィールド

「平和学習・広島」との組み合わせも

瀬戸内海を挟んだ対岸の広島は、平和学習や世界遺産を主要テーマに年間30万人を超える教育旅行生を受け入れているといわれる。松山市はそこに着目し、「広島から松山へ」の誘致をスタート。市産業経済部観光産業振興課、教育旅行担当の織田祐吾氏は「仮に広島から関西へのコースであっても、同じルートを往復するのではなく、広島から松山へ渡り、瀬戸大橋、しまなみ海道、神戸淡路鳴門道のいずれかを通って関西へ入ることも十分可能」と話す。

スーパージェット（上）、中島入港時（中・保育園児歓迎）、出港時（下・紙テープ）の１コマ

しかし、一般観光とは違う教育旅行の分野に対し、さまざまな課題に直面した。それは大きく分けて「広島からの移動時間と移動コスト」「地元の受け入れ経験」「ターゲットとしている地域からの実績」の3つ。これと並行して、松山に来たいと思わせる「魅力ある体験メニューづくり」が求められていた。

まず、移動にかかわる課題をクリアするため、松山市では地元民間船会社などと協議を進め、利用人数、用途に応じて選択できる、スーパージェット（定員153人）、高速艇（定員90人）、フェリー（定員270人）の3種類の船をチャーターできるようにした。これにより、希望の時間に希望の場所へ移動することが可能となった。

昨年、2つの高校が利用し、宮島などから直接松山入りしたが、船酔いもなく、安全、かつ快適に運行された。利用人数が定員を上回る場合には、定期便との並走も可能という。

市では、チャーター船での移動を単なる手段ではなく、「ほんの1時間の瀬戸内海クルージング」としてメニュー化。「広島、松山を結ぶゴールデンルート」として定番化を目指している。

2つ目の課題である地元の受け入れ経験については、特に松山での主要な宿泊地となる道後温泉エリアの旅館・ホテル、商店街との調整に時間を費やした。このエリアは、もともと団体旅行客の受け入れを得意としており、そのもてなしは折り紙つきだが、教育旅行客は一般観光客以上に神経を使う場面も多いことから、市の担当職員が頻繁に足を運んだ。

宿泊先となる旅館・ホテルでの食事は、教育旅行生用の特別メニューで上座下座、食育などの知識や作法について、料理長や女将から学べる。正岡子規に代表される文学のまちとしても有名なことから、子規記念博物館館長による出張講座も宿泊先で聴講できる。

道後温泉本館では、普段は決して見られない「分湯場」を教育旅行生限定で特別に見学できる。約60の店が軒を連ねる道後商店街では、生徒全員へ買い物券のプレゼントや人力車の特別割引乗車、俳句の特別投句イベントなどを実施。人力車での街中散策も楽しめる。地元商店街や市職員によりしっかりと見守る体制がとられて配した旅行会社のすべてから絶賛されているという。

夕食前後には「和文化・和の作法」体験も用意した。箸の割り方・使い方や和食の食べ方、座敷での食育などの知識や作法について、料理長や女将から学べる。正岡子規に代表される文学のまちとしても有名なことから、子規記念博物館館長による出張講座も宿泊先で聴講できる。

道後温泉本館では、普段は決して見られない「分湯場」を教育旅行生しい」と力強く語る。

宿泊先では夕食前に和の作法を学ぶ

松山の顔・道後温泉本館

人力車も特別割引乗車で体験

分湯場の特別見学

「第一次産業、伝統産業」を学ぶ

◆みかん王国・中島

瀬戸内海に浮かぶ「中島」は、松山から船で30分。人口は約4800人。かつては「㊥（まるなか）ブランド」が有名なみかんの生産地であり、愛媛県の島の中でみかんに携わっている農家戸数は第1位。そんな「みかん王国」で地元農家の指導により、みかんの収穫が体験できる。

体験した生徒は「みかんの取り方をていねいに教えてもらい、自然の素晴らしさを実感し、人の優しさ、温かさを感じた」との声を寄せている。

また、延長500㍍の美しい海岸が続く「姫ヶ浜ビーチ」では、投げ釣り体験やビーチフラッグなどの浜遊びが楽しめる。昼食時には釣った魚で海鮮バーベキューも。

海の幸で海鮮バーベキュー

伝統の砥部焼を体験

◆砥部焼

松山市の隣町、砥部町では、「砥部焼」コースを選択可能。講師の指導を受けながら、ろくろ、手びねり、絵付けなど伝統の技を体験できる。出来上がった作品は、再度窯で焼き、後日完成品として届けられる仕組み。

「明治」を学ぶ

松山市は、小説「坊っちゃん」を描いた夏目漱石や俳句文学を確立した正岡子規など明治を舞台に活躍した多くの文人にゆかりのあるまち。また、今年11月から3年間かけてNHKで放送されるスペシャルドラマ「坂の上の雲」の主人公である秋山好古・真之兄弟、そして正岡子規の3人を輩出したまちでもある。

松山には、「明治」という新しい近代国家を築こうとした先人達の足跡やゆかりの地が多く残っており、現代に生き、未来を担う若者たちは、それらをたどることで「夢に向かって精一杯生きること」をじっくりと学べるはずだ。

感動、教訓、そして最高の思い出を

「環境保全への実践」を学ぶ

◆魔法の水・えひめＡＩ

教育旅行の大きなテーマの1つである「環境」。松山では、実践につながる体験メニューを用意している。

その代表格が、「えひめＡＩ（あい）」という環境浄化微生物を活用した学習。えひめＡＩは、家庭排水などを浄化し、川や海の自然を守る効果があるとされ、現在、テレビや雑誌などでも取り上げられている。開発者が松山市在住であることから、環境問題について直接レクチャーを受けたり、納豆、ヨーグルト、ドライイーストなど手頃な材料を使った「えひめＡＩ－2」をその場で製造したりと、環境保全への取り組みを生徒自らが体感することができる。完成したえひめＡＩ－2は、地元に持って帰ることもでき、学校や家庭で環境意識を芽生えさせ、〝地域のＥＣＯ大使〟としての活躍も期待できる。

えひめＡＩ－２製造体験

◆とべ動物園

環境学習メニューは「とべ動物園」でも実施されている。西日本最大級の規模を誇る行動展示型動物園で、ホッキョクグマ・ピース、アフリカゾウ、スローロリスの人工哺育に日本初で成功したことでも有名。従来、動物への餌やりや触れ合い体験を行っているが、教育的視点に立って練り直し、動物園ならではのメニューを作り上げた。

例えば、ホッキョクグマを通した北極での地球温暖化現象やアフリカゾウを通した森林伐採、密輸など、地球規模で破壊されている環境問題を具体的に学び、「1人ひとりができること」について考える機会となる。また、とべ動物園が取り組んでいる堆肥処理や汚水処理などリサイクル活動についても学べる。

体験いろいろ

◆スポーツ文化

プロ野球オールスターゲームや女子硬式野球ワールドカップも開催された「坊っちゃんスタジアム」や愛媛の野球の歴史を紹介した「の・ボールミュージアム」、日本初の野球独立リーグ「四国・九州アイランドリーグ」やＪ2リーグ所属の「愛媛ＦＣ」など、スポーツの本場での体験もできる。

◆しまなみ海道

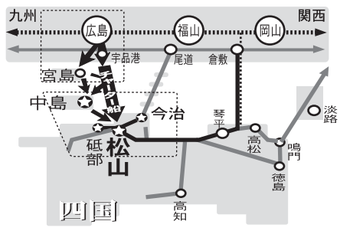
松山から車で1時間ほど走ると「しまなみ海道」の愛媛側の玄関口今治市に到着する。

定番メニューは、自転車で渡れる「橋上サイクリング」で、瀬戸内海の島々を眺めながらのサイクリングは爽快そのもの。昼食で海鮮バーベキュー、観潮船での急流体験などもできる。

お勧めモデルコース
広島～松山～琴平～倉敷～関西

松山市がお勧めするコースの1つに、広島から松山、松山から琴平、徳島などを経由するルートがある。このコースをモデル化すると以下のとおり（**マップ参照**）。

発地⇒広島／宮島（広島／宮島泊）⇒中島⇒松山市内／松山周辺（松山泊）⇒琴平⇒倉敷⇒神戸⇒大阪⇒京都（神戸／大阪／京都泊）⇒発



＝モデルコース体験談＝
生徒の満足度95％

愛知県立東海商業高校　国枝裕校長

「きゃ～かわいい」「うわ～甘い」「おぉ、来た来た」、大浦港での地元園児の大歓迎、自分で摘んだ旬なミカンの味、30㌢超の大物を釣り上げた手ごたえ、生徒たちはそれぞれの都度歓声を上げ、生き生きとした表情を見せていた。

私の同行した中島でのミカン狩りと海釣り、しまなみ海道のサイクリング、砥部動物園の餌やりの3コースの体験旅行は、都会生活の生徒には極めて貴重な経験となった。来年も必ず戻ってきます。生徒へのアンケートでは、3コースとも95％前後の満足度だった。今度は、明治の歴史を感じる旅もしてみたい。

―協力―
松山市産業経済部
観光産業振興課
愛媛県松山市
二番町4-7-2
〒790-8571
TEL089-948-6558
FAX089-934-1764

Rising East project

それは空に向かって伸びる、
大きな木のようなタワー。

そこには環境にやさしい街が生まれ、

世界の人が集い、
新しい文化が創造されていきます。

「東京スカイツリー®」、
2012年春開業予定。

東京の新しいシンボルの誕生に、
どうぞご期待ください。

TOKYO SKY TREE®
www.tokyo-skytree.jp